



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590 / CHARTERED MAY 29, 1976 / WEEKLY BULLETIN



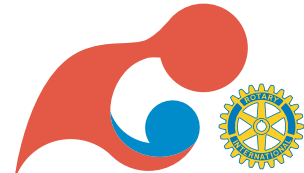
クラブテーマ 更なる奉仕を地域と共に

2008-2009年度 **第29号週報 No.1588**

2009年(平成21年)2月6日 第1588回例会記録 2月13日発行

2008-2009年度RI会長

李 東建



夢をかたちに

2008-2009年度 清水 良夫
第2590地区ガバナー

会 長	犬飼 和春	会長エレクト	河野 明光
副 会 長	横山 範夫	副 会 長	梅崎 興生
幹 事	古川陽太郎	副 幹 事	山田 正憲
会 計	館野 典久	副 会 計	朝日 達夫
S A A	布施 是清	副 S A A	飯田 泰之
クラブ会報	角田 伯雄	副 S A A	月山 勇(PP)

事務局 ホテルキャメロットジャパン内
〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3 TEL:045(314)3900 FAX:045(314)3555

例会日 毎週金曜日0:30~1:30PM

例会場 ホテルキャメロットジャパン **創立記念日** 昭和51年5月29日

URL <http://www.kanagawahigashi.com/> **E-mail** kerc@beach.ocn.ne.jp

司 会 山田 正憲 副幹事

点 鐘 犬飼 和春 会長

齊 唱 君が代・奉仕の理想

四つのテスト 川邊 正男 職業奉仕委員長

ゲスト紹介

宮田 真二 様 (ゲストスピーカー)
周 鋒 様 (2008-09年度 米山奨学生)
Abbey Moore 様 (2008-09年度 国際青少年交換学生)

ビジター紹介

横浜鶴見北 R.C 萩原 祥生 君
綾瀬 R.C 関川秀三郎 君
川崎中 R.C 鹿島 庄平 君

特別行事

米山奨学金贈呈 周 鋒 様



青少年交換学生補助金 (小遣い) 贈呈 Abbey Moore 様



本日《2月13日》のプログラム

- ◆ 齊 唱 「我等の生業」
- ◆ 献 立 仔牛の煮込み
- ◆ 卓 話 「運輸と環境、そしてトラック」

豊田 榮次 様 (紹介者 脇田 いすゞ 会員)

誕生日祝

山田 正憲 会員 (2月9日)

森永 健 会員 (2月12日)



入会記念日祝

田中 龍太郎 会員 (第29期 2005年2月4日入会)

田口 健太郎 会員 (第29期 2005年2月4日入会)



会長報告

地区ガバナーより、青柳紀会員宛に地区協議会 部門別サブリーダーとして委嘱状がきておりますのでお渡し致します。



幹事報告

本日、例会終了後国際奉仕委員によるクラブフォーラムを開催致します。大勢の出席をお願い致します。

場所 5F ジュビリー

榎くまヒラから恒例の「抜粋のつづり」がきましたので各ボックスへ配布致しました。

先週になりますが、米山寄付金の確定申告用領収証を各ボックスへ配布致しました。申告の際に、税務署へ提出をお願いします。07-08年度 RI 年次報告と R 財団年次報告が送られてきておりますので回覧致します。

次週、例会終了後、2月度定例理事会を開催致します。

例会変更のお知らせ

横浜東ロータリークラブ

平成21年2月20日(金)

第54周年創立記念夜間移動例会

場所 横浜エクセル東急ホテル

点鐘 18:00

横浜保土ヶ谷ロータリークラブ

平成21年2月24日(火)

休会 (定款第5条第1節による)

委員会報告

国際奉仕委員会 委員長 西山 潔

神奈川東ロータリークラブ 第2回 国際奉仕委員会

平成21年1月29日(木) 18:00 於: 濱久

会長挨拶 犬飼 和春 会長

協議事項

1. 国際奉仕フォーラムについて

- 1) 2月6日(金) 例会終了後開始
- 2) スリランカへの井戸寄贈事業を中心に活動報告を行う
- 3) 当日委員長経験者として、コメントをお願いします

2. IM について

- 1) 2月28日(土) 13:00より 新横浜プリンスホテル
テーマ「国際奉仕の夢」をかたちに パネルディスカッション
スリランカの井戸寄贈事業について報告する

2) 現在 IM 小委員会で検討中

河野会長エレクト、石川 PP、江森新世代育成委員長、西山

3. 瀧尾ロータリークラブ公式訪問について

1) 日程について

4月26日(日)の瀧尾 R.C のチャーターデイに訪問予定

(1) 4月25日~27日(月) 2泊3日

(2) 4月26日~29日(火) 3泊4日

2) オプションルツアーについて

ゴルフ、新幹線、温泉、その他

4. ルーヤンロータリークラブへの派遣学生について

- ・日本、横浜、神奈川東ロータリークラブの紹介
- ・日本文化の披露等の打ち合わせ

5. その他

本日例会終了後、フォーラムを開催致します。

出席報告

上阪 哲也 委員長

会員総数	66名	(53+13)名
出席会員数	49名	(39+10)名
出席率	77.78%	
ゲスト	3名	ビジター 3名
前回補正後	85%	前々回補正後 95.08%

スマイルボックス

布施 是清 SAA

親睦委員会 1月末の賀詞交歓会に出席の皆様、ありがとうございました。

関川秀三郎君 本日もお世話になります。

萩原祥生君 本日は、アビーに会いに久しぶりにお邪魔しました。

お世話になります。よろしくお願い致します。

富居利貞君 節分にご参加の皆様ご苦労さんでした。

田邊正彦君 節分も終わりましたのでニコニコへ！！

山田正憲君 誕生祝いをありがとうございます。昭和33年2月9日、散々憎まれて生まれました私も51歳になりました。

森永 健君 お誕生日のお祝いをありがとうございます。

田中龍太郎君 入会祝いありがとうございます。これからもよろしくお願い致します。

永井隆俊君 小生の走っている旭区大池公園の梅がほとんど満開になりました。

月山 勇君 富居さん、先日の節分会ではお世話になりました。またご参加の皆様お疲れ様でした。

山本 登君 親バカから一言。クラブ活動に熱中し、一浪となった息子が今年は受験した医学部5校全てに合格。上位合格者に入学金減免のある、母校の昭和大学医学部に入学が決まりました。これで金喰い虫の医学生が4人となり、来年は5番目が受験です。河野ちゃん奨学金を出してー！

古川陽太郎君 鶴見北の萩原祥生様、本日はようこそお越し下さいました。

横山範夫君 今日は初午です。山本住職お世話になりありがとうございました。

川邊正男君 先週の合同例会お疲れ様でした。富居さん節分祭ではお世話になりました。

山田富雄君 先日の合同例会、最高でした。関係者の皆様ご苦労様でした。月山さん先日はお世話になりました。

西山 潔君 渡邊さん、山本芳弘さん、先日は大変お疲れ様でした。メジャーデビューを目指して頑張りましょう。そこで、KERC(ケロック)ではバンドメンバーを募集します。キーボード、プラスなどできる方は連絡下さい。

山本芳弘君 先週の賀詞交歓会では、つたない太鼓をご披露して失礼致しました。渡邊さん、西山さん、ありがとうございました。器材運びをお手伝い下さった方々にも御礼申し上げます。

横溝 亘君 宮田様、本日の卓話よろしくお願い致します。

脇田いすゞ君 本日の第2テーブルミーティングご出席の皆様よろしくお願い致します。

茂木知子君 鼻のマヌケな傷。カワウにつつかれました。次の日カワウは死にました。解剖すると胃の中にはたくさんの寄生虫、胃壁に穿孔していて、さぞ激痛があったと思います。胃の中には、小さなカニのハサミとシッポが1つあったけでした。

2月6日	19件	56,000円
本年度累計額		1,504,212円

卓話

「身近な環境問題とオゾンの有用性」

宮田 真二 様

(紹介者 横溝 亘 会員)



プロフィール

最終学歴	昭和56年3月	東洋大学 大学院 修士課程 マーケティング 終了
職歴	平成13年4月 平成17年4月	株式会社ジェイ・シー・アール入社 株式会社ジェイ・シー・アール 東京支店 支店長 現在に至る
ひとこと	よろしく申し上げます。お会いできますことを楽しみにしております。	

環境問題は、単にある地方や国に限られたものではなく、地球規模のものになっています。それはわたしたちの生活に最も密接な水と空気の自由な使用をも揺るがす重大な問題だからです。

そのような状況から環境問題が今日のようにここまで大きな問題にならなかったら「オゾン」もこれほどまでに注目されなかったに違いありません。

オゾンは、水と空気の殺菌・脱臭などの環境改善に有効に作用し、さらにハイテクの分野でも半導体の加工技術、魚介類の養殖、植物

の栽培などにも確実に応用範囲は広がられてきています。また、近年医療分野での数多い症例も同様です。

現在問題となっております「オゾン層の破壊」も、約20年位前に排出されたフロンガスがゆっくり上昇し、地上15キロから30キロ上空のオゾン層を破壊しているわけです。私たちは、自分たちの快適な環境保持のためにエアコンや冷蔵庫、断熱材を使用しフロンガスを排出し続けております。このままでは15年・20年後の将来に禍根を残すこととなります。よってフロンガスの処理対策が急がれております。

例えば、治療のための薬が、その副作用によって新たな病気を引き起こすように、環境問題は、ある改善技術が次の新たな汚染問題を作り出すようであってはなりません。

一つの有害物質を処理できたからとしても、それに伴って他の有害物質を創出しては、環境改善には全く役立たないからです。

「オゾン」はそんな状況下にある現在の環境汚染改善技術に対し、残留成分もなく最終的に全く害が無いという点で、もしかしたら救世主になるかも知れません。

わずか数百年の間に「崩壊」への道を歩み始めた地球。それも人間の手によって...

「オゾン」は小さな一つの道具に過ぎません。そして、まだまだ未知であり、不思議な物質ですが魅力ある新しい応用領域がたくさん潜んでいます。「オゾン」は21世紀の環境改善の鍵をしっかりと握っています。

国際奉仕クラブフォーラム

神奈川東 R.C 国際奉仕活動の現況

- 1) スリランカへの井戸寄贈事業 平成11年9月～現在
- 2) スリランカへの幼稚園寄贈事業 平成13年5月～現在
- 3) スリランカへの英訳付絵本の寄贈事業 平成13年10月～現在
- 4) スリランカとネパールの幼稚園に「手作りの教材」を寄贈事業
- 5) 台北滬尾 R.C と姉妹クラブ提携
- 6) マレーシア・ルーヤン R.C と友好クラブ提携

スリランカへの井戸寄贈事業

この活動のキッカケは、今から9年半前の平成11年6月の『或る卓話』が原点でした。20年以上にわたって『スリランカー筋』、貧しい山村の人たちの支援に取り組んでいる組織の代表、鈴木一男さんの現地報告は、実に生々しく、『わずか1本の井戸が、どれだけ現地の人達に、恵みをもたらすのか...』という真摯の訴えに、我がクラブの会員たちが感銘を受け、その場で集まった7万円余りの寄付で、その年、クラブ第1号の井戸が現地の山村に完成しました。

平成13年からは、井戸の寄贈資金は神奈川区の反町公園で開かれる『神奈川区民まつり』での募金活動での浄財を原資にしています。この募金活動は、『単に、ポケットマネーを出すだけの寄贈ではなく、一年に1回は、皆が汗を流して、井戸の建設資金を集めよう』

というクラブの基本方針で始まったものです。社会奉仕委員会、新世代育成委員会、親睦委員会と連携を取りながら、クラブの会員そして会員家族が、何かしらの形で貢献し、今やクラブの年中行事として定着しています。現在で、井戸の数は、クラブ単独の寄贈井戸が34本（完成31本、場所選定中3本）会員の個人寄贈7本、クラブが提携している台湾の R.C との協同寄贈、それに近隣の商店街の分を合わせますと、合計43本（完成済40本、未完3本）の井戸が現地で稼働して、喜ばれています。

一本の井戸は、大体20～30世帯（100人前後）で使っていますが、主婦や子供たちは、遠くからの『日々水運び』から解放されて、主婦も働きに出ることが可能、綺麗な水のお陰で子供たちの病気も激減しています。水の導入で米の2毛作や野菜の生産もできるようになって、家計を潤わしているようです。これまでは500～1,000m離れた川や溜め水（動物も水飲みにきていた）から運搬していた。一世帯の月収は10,000円前後（紅茶やゴム園で働いている人が多い）7～8m掘ると水が出る。農業用水にも使う場合は電動のポンプを付ける。ほとんどは農民の手作業。1本の井戸の掘削費用は75,000円で、セメント、金網、接続工具、ポンプなどの資材代がほとんどです。

我がクラブでは、単なる資金援助ではなく、その支援が現地でするように生かされ、設置後も維持や管理ができるかどうかを確かめられるものに限定しています。

この継続的な事業を通じて、私たちは、大変に感謝していることがあります。それは、私たちが、この事業を支える多くの人たちに恵まれていることです。

特に、卓話で、私たちを感動させてスリランカへ関心を向けさせ、その後も現地への橋渡しと現地での動向を詳細に伝えてくれている鈴木会長を始めとする OWOP 協会の人たちと巡り会えたこと。

また、協会を通じて連携している、現地最大の NGO 『サルボダヤ会』が私たちの主旨を組んで、現地で全面的な協力をしてくれていることです。実は、この現地の『サルボダヤ会』の主宰者は、現地では神様のように慕われている、アリヤラトネさんという方ですが（我々はアリ博士とよんでいます...）毎年、ノーベル平和賞の候補に挙げられています。

クラブの支援は、この両者によって現地で確実に具体化され、その維持管理や住民の反響などの情報が逐一クラブに伝えられるため、会員の関心や意識が高まり、毎年のクラブ挙げての募金活動にも繋がっています。

今後、寄贈井戸の水質検査の実施や補修支援なども検討したいと考えています。

『継続は力なり』とよく言われますが、この継続的な事業への取り組みで、私たちは、昨今、日本では得難い数々の『感動』を味わい、また、クラブの親睦と結束を深めることもできて、この言葉の意味を噛み締めております。

スリランカへの幼稚園の寄贈事業

クラブでは平成13年5月に、創立25周年の記念事業として、スリランカ中部の山村に幼稚園を寄贈しているが、毎年、その後の様子をチェックしながら遊び場の拡張や遊戯用具、図書室の本箱・給食施設の新設費用を追加支援しています。

スリランカへの英訳付絵本の寄贈事業

京都市伏見区の私立橘高校の英検2級以上の女子生徒34名が、当初は、古い絵本を持ち寄って英訳に取り組み始めたが、新聞やTVで紹介されてからは、各地から絵本が集まり、3年間に、500冊を英訳して、現地に発送。クラブが提携している現地のNGO組織が英訳を基にシンハラ語に翻訳して子供たちが直接読めるようにし、各地の幼稚園に配布している。(平成15年夏には、橘高校生の指導で、京都府城陽市立城陽中学生も英訳に参加し、これも新聞に報道されて関西では大きな話題になった。

橘高校の英訳は、生徒たちの卒業により平成16年春で途絶えたが、この絵本の英訳は、平成18年春から、京都の同志社女子大学の学生サークル『かたつむりの会』の学生たちに引き継がれて、すでに50冊がスリランカに送られている。また、平成17年12月からは、横浜のフェリス女学院高校部が、クラブの要請を受け入れて絵本の英訳に参加、現在までに30冊が現地に送られている。クラブでは、橘高校には、現地への送料25,000円×6回=150,000円を負担。フェリス校には、絵本代50,000円を寄贈。同志社分は、下記の事業と一緒に250,000円をクラブ創立30周年記念事業の一つとし助成している。

スリランカとネパールの幼稚園に、「手作りの教材」を寄贈事業

上記の同志社女子大学の『かたつむりの会』では、クラブの助成を受けて将来教壇に立つ34名の学生たちが、絵本の英訳と合わせ、教材不足に悩む途上国の幼稚園教師のために、7種類の手作りの教材12セットを作成。平成18年秋以降、スリランカとネパール各地の幼稚園と保育園で、実演を試み現在、現地教師の要望を加えた教材の作成に当たっている。クラブでは資金助成だけでなく、現地での実演の設営や教師たちの様々な要望伝達を、クラブが提携しているに日本側と現地側のNGO組織に依頼して実施している。

台北滬尾 R.C と姉妹クラブ提携

姉妹クラブ提携

1982～1985	締結（3年間）	中華民国淡水扶輪社
1985～1990	再締結（5年間）	中華民国淡水扶輪社
1990～1995	再締結（5年間）	中華民国淡水扶輪社
1995～2000	再締結（5年間）	中華民国淡水扶輪社
2000～2005	再締結（5年間）	中華民国淡水扶輪社
2007～2010	締結（3年間）	中華民国滬尾扶輪社

隔年ごとに、交互に公式訪問を行う。

共同事業

スリランカへの井戸協同寄贈、井戸1本を寄贈する。

クラブ事業

台北市へ、三春桜を寄贈する。

マレーシア・ルーヤン R.C と友好クラブ提携

2008年1月 友好クラブ締結

2008年5月 マレーシア・ルーヤン RC の IAC

SHAN・TAO 高校 来日



ロータリーミニ情報

ロータリー国連デーに多数の参加者

11月8日、アメリカ・ニューヨークの国連で開かれた「ロータリー国連デー」に、ロータリアンやローターアクター、インターアクターなど44か国以上900人を超える出席者がありました。

当日は、水、識字率向上、保健、飢餓に関するパネル討論が行われたほか、ロータリー、国連、協力関係にある非政府組織の代表者らが講演し、各問題への取り組みに向けていかに協力できるかを語りました。なかでも、拍手かっさいを最も浴びたのは、世界保健機関の組織協力コーディネーター、アナンド・バラチャンドラン氏。世

界ポリオ撲滅計画の成果について、計画が始まった1988年には125か国だったポリオ常在国が4か国を残すだけとなったことに言及し、「この活動はロータリーなしでは実現しえなかった」と述べました。

そのほか、アフリカの貧しい地域社会で保健、飢餓、教育の切実なニーズに取り組むプロジェクトや、小児医療に識字推進を組み入れようとするプロジェクト、発展途上国の人々に野菜の種を送り、食糧を作る方法を教えるプロジェクトなどに注目が集まりました。

『ロータリージャパン』ホームページ情報

『ロータリーの友』では「言いたい 聞きたい」の原稿を募集しています。「ロータリー」ならびに『ロータリーの友』について感じたこと、建設的な意見、疑問・質問、問題提起など、800字以内でお書き下さい。

詳細は『ロータリージャパン』ホームページ

http://www.rotary.or.jp/tomo_genkoboshu/genko_iitai.htmlまで。

『ロータリーの友』英語版 No.67 ができ上がりました。海外の人々に日本のロータリーを知ってもらうためにお役立て下さい。記事の内容などは『ロータリージャパン』ホームページ

http://www.rotary.or.jp/tomo_information/english67.htmlをご覧ください。

ムンバイの大悲劇に対し支援を申し出

ロータリーのリーダーとインドのロータリアンたちは11月26日に発生し、170人以上が死亡したテロに対し、哀悼の意を表すとともに、生存者の救援に当たっています。

12月3日、数万人の市民の、死亡者を悼み暴力に抗議する平和行進に、300人を超えるムンバイのロータリアンも参加し、テロの標的の一つとなったタージマハル・パレス・アンド・タワーホテルを囲む通りに集まりました。ロータリアンは、団結と平和を示すためにロータリーの旗とバナーをふりかざしました。

また、ロータリアンとその家族は長い列に並んで献血をしました。ムンバイのロータリークラブは、負傷者たちを支援し慰問しようと、病院と連絡をとっています。

ムンバイでの攻撃を、“大惨劇”と称し、李東建国際ロータリー会長は、復興には何か月もかかることになるだろうが、ロータリーは被害者とその家族のために支援を行うと話します。

なお、1929年に創立されて以来、タージマハル・ホテルのボール・ルームで例会を開いていたボンベイ R.C は、テロによる火災のため例会場を失ってしまいました。

『ロータリージャパン』ホームページ情報

12月15日までに、来年6月に開催されるバーミンガム国際大会の登録をすると、割引料金が適用され、来年4月1日以降に登録をするより100ドルもお得です。登録は、国際ロータリー日本事務局を通して受け付けています。

最高の一枚を送って下さい

国際ロータリー (RI) の公式雑誌『THE ROTARIAN』では、恒例の写真コンテストへの作品を募集しています。応募の締め切り

は2009年2月28日で、今回もテーマは「超我の奉仕」です。RIの会合や各クラブの事業などで撮影した、最高の一枚をお送り下さい。

なお、ロータリアンも作品に投票できる「ピープルズチョイス賞」のオンライン投票は、2009年4月15日～5月15日の予定です。

コンテストの規則と募集要項はRIのホームページ (英語) http://www.rotary.org/en/MediaAndNews/TheRotarian/Pages/TheRotarianPhotoContest.aspx?_InfoPath_Sentinel=1 をご覧下さい。

2008年財務状況に関するご報告 (抜粋)

現在の経済状況は、引き続き、ロータリーにも課題をもたらしています。

9月30日以来、国際ロータリー (RI) の一般資金はさらに16.1% 下がり、その結果、会計年度現在までの投資損失は24% (2,200万ドル) となっています。ロータリー財団の投資 (ポリオ・プラス基金を除く) も市況とともに低下の一途をたどり、7月から11月までに1億6,500万ドルの損失をもたらす結果となりました。以前にご報告しましたように、現在までの損失のほぼすべては、所有する証券の市場価値が下落したことによるもの (すなわち未実現損益) であり、証券を売却するまで実際の損失とはなりません。ロータリアンの皆様が会費を期日どおりに支払い、財団へ惜しみない寄付を寄せて下さっているおかげで、運営費に充てるために投資証券を売却する必要は生じておりません。

RIの予備金が現在も理事会の目標レベルを上回っている一方、財団の予備金は大幅に低下し、管理委員会が定めたレベルを下回っています。従って、私たちは、経費を削減するとともに、危機管理計画ならびに2009-10年度の緊縮予算の準備などの措置をとっております。

経済的に困難な環境の中でもロータリーの財務健全性を保つため、可能な限りの対策を取っていることをここに報告致します。

エド・フタ (布田) 事務総長

全文はRIのウェブサイト <http://www.rotary.org/ja/Pages/ridefault.aspx> でご覧下さい。

『ロータリージャパン』ホームページ情報

『ロータリーの友』1月号の要旨を掲載しています。1月号では、ロータリー理解推進月間にちなんで特集を組んでいます。1月号要旨は、「ロータリージャパン」の日本語ホームページ <http://www.rotary.or.jp/contents.html> から入り、画面左側にある「ロータリーの友1月号」をクリックしてご覧下さい。

次回《2月20日》の卓話予定

「青少年育成と本協会の役割」

岩倉 憲男 様
(紹介者 横溝 亘 会員)